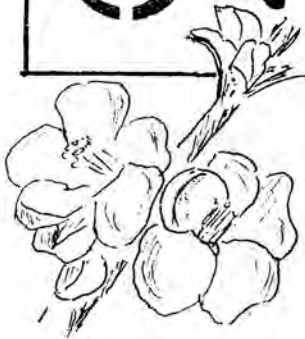




奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



社叢から自然保護を考える I

川井 秀夫

社叢とは。一口に言えば「鎮守の森」のことである。「神々の森」であり、祭祀の場でもある。日本列島に住みついた人々が、「神々の森」を創ったのは、美しい日本の自然を、ただ畏怖し、制御するだけでなく、積極的に共生しようと考えたからであり、日本人の思想のシンボルとなり、行動の結節点となったのが社叢である。

03' 京大名誉教授 上田 篤氏の提唱により、各界の有名人、学識者が中核となり社叢学会が発足する。

諸学を結集して、何百年、何千年にわたる日本人の変わらぬ思想や生活、環境、文化などを解明し、自らのアイデンティティを喪失しつつある多くの日本人に、自然を基軸とした日本文化にたいする深い自覚を促し、大きな自信を与える事が出来るのではないか。社叢の破壊をくい止め、生活空間に緑を恢復し、更には地球環境の悪化に悩む世界の国々に対し、日本文化の発信の一つとして環境学的指針を提示し、社叢の保存・開発を指向することを目的として設立される。

私も在籍して三年。行動を起こす前に、神とは何か。神は存在するか。神道とは。神話とは。定期集會に出席して色々な知識を吸収してきたが、ここでは紙数も限りがあり、主題の核心に逸れるので「神様」の話は省略したい。

社叢の調査とは、なかなか奥深く、根源的には山の自然を守る事に通じ、鎮守の森には、古代から残された「照葉樹林」が手付かずで息づいているが、近年 宅地開発、道路建設等 インフラ文明に蚕食され、街の社の荒廃が進んでいる。

今日、神社庁に登録されている神社の数は12万社あるが、未登録を含めると15万社とも言われている。

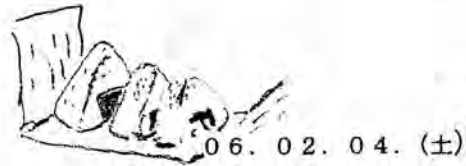
私の住む生駒市だけでも、正確ではないが100社程度はあると思われる。昨年、往馬大社を訪れたが、典型的な照葉樹の極相林を呈し、ツブラジイ、カナメモチ、リンボク、サカキ、クスノキ、ユズリハなど ツブラジイが最も多く、「椎の社」と命名されている。

奈良県に目を広げると、河合町の広瀬神社、御所 名柄神社、奈良公園の手向山八幡氷室神社、奈良町の御霊神社、率川神社、天理 石上神宮、桜井 三輪明神 等々 印象に残る社も多いが、当会の自然観察ルートで出会う社の中で森のない社も多く、時代の変遷に、消え細る文化に心が痛む。

私も忙しさにかまけて、本格的な調査活動に入れないうるが、せめて地元のポイントを幾つかの視点で系統的に纏めが出来ればと思っている。

次章では調査活動の具体的な手法をご紹介します。

三峰山紀行



近鉄榛原駅 09:15 発の奈良交通バス霧氷号に乗ること約 1 時間、三峰山の北嶺にあたる登山口の「みつえ青少年旅行村」に 10:22 着。

女 5 男 4 の計 9 名のパーティは、我が世代の標準的な人口構成と同じだと独りで納得しながら、登山届を提出、準備体操で十分ウォーミングアップしたあと、10:30、阿部・弓場両リーダーの先導により出発した。

約 15 分後、不動川通称「大タイ」の谷筋を木橋で横切り、尾根沿いの「登り尾」登山道・・・ここが一寸きつい・・・ぼちぼちと体調を整えながら登る。高度差 200m、立派な山小屋風のトイレで小休止、服装を再点検して出発。

スギの林の続くゆるい尾根路をひたすら登る。やがて三峰山の主、ブナの巨木が迎えてくれる。ここの避難小屋（満員）は素通りして、造林小屋で昼食にする（12:15）。

昼食後、アイゼンを着装の指示があつて再出発。登り始めから雪山になる。凍った雪にアイゼンが喰い込む感触を楽しみながら、急坂の尾根筋にとりかかる。

天候は晴れたり、曇ったりで、有風無風の気象の変化が、山稜の眺望に絶妙な変化をもたらす。気温マイナス 7 度、強い日差しにダイヤモンド・ダストがキラキラ、その都度歓声を上げた。

少し急な尾根沿いのブナ、シロツツジ、ヒメシャラなどの木々の枝・幹に、そして下草のクマザサにも、翼のような霧氷が着氷している（なんと風上に向かって成長しているのだ！初めて気が付く）。素晴らしい光景に感嘆しきり。疲れは全く感じない。

やがて、三峰山の頂上（1235.4m 高度差約 800m）に到達。丁度、無風・快晴で、曾爾高原の倶留尊山、美杉村の大洞山・尼ヶ岳など全くガスの懸からない文句無しの素晴らしいパノラマ展望。感激！ 先ずは記念写真、そして弓場さんが大事に持参された 20 余年の日本古酒（これがなんとイケルのだ）で美しい自然に感謝して乾杯！

頂上より八丁平に至る間、樹皮の良く似た姫沙羅と小さな実を残している令法（リュウブ）が並立し、その違いを勉強、チョット賢くなった気分。

下りのルートは、避難小屋の南側を巻いて不動滝へ、急坂を交替に尻餅を搦きながら一気？に下る。途中に何箇所か鹿除けネットフェンスをくぐり抜けながら不動滝着。通常この時期は涸れ谷とのことだが、数日前の降雨のせいで豊かな水が不動の滝を成し、飛沫のツララとあわせて見事な景観を示す。

傍の参籠所を過ぎると不動川沿いに緩い下りのルンルン・ロードがバス停へと導いてくれる。両リーダーの適確な指示・・・アイゼンの着脱、服装、休憩・昼食・・・により、計画どおりの時間行程で帰着できた。その指導力の感服。お陰で、参加者の中に体力自信を再確認された方も数人あり、まことに目出度い事でした。

（追記）

旅行村では猪汁を熱燗で啜り、まだ物足りない数人は榛原駅の居酒屋で、だべりながら何時までも雪山の余韻に浸ったことでした。 （堀川豊司・古川祐司 記）

2月例会 霧氷の三峰山行事報告

担当：阿部和生

日時…2月4日 天候 雪 時々晴れ 寒し

参加者…古川、堀川、弓場、阿部、甲斐野(下見)、柳田、宮川、林、福谷、豊島計10名

コース…近鉄榛原駅→近鉄バスにて「みつえ青少年旅行村」→登山(登り尾コース)→避難小屋→三畝峠→山頂→八丁平→(大タイ林道)不動滝をへて「みつえ青少年旅行村」
およそ4時間 標高1235.4m

内容…バスの行きかえりは、雪が舞う状態であったが、登山の間はおだやかで避難小屋の立派なブナの大木やヒメシャラを楽しめた。アイゼンをはき積雪を登ると寒さも有り、すばらしい霧氷が出迎えてくれた。山頂は霧氷の中360度の大自然を満喫した。八丁平のシロヤシロやアセビはこの寒さでも新芽が膨らんでいるように感じた。帰路 樹林の急坂を下り、半分凍っている不動滝を横手にみて出発点に戻り山頂を眺めると、もはや雲の中に隠れていた、3時40分のバスで全員帰途に着いた。

会からのお知らせ

「ボランティア活動保険と会費」についてのお願い

あつてはならない事、もし遭遇したら補償するのが保険ですが、その活動対象は「奈良・人と自然の会」の企画された行事のみならず、皆さんが会を離れて個人が実施した「自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償のボランティア活動(但し日本国内のみ)」をも含んでいるのです。補償期間は毎年4月1日に始まり、翌年の3月31日までの1年間ですが、特にその始まりは、扱いが所定の手続きと掛け金の入金を確認した翌日からとなっています。従って、連続するためには、手続きと掛け金(年間300円)を少なくとも、3月25日ごろまでに継続手続きを終えておく必要があります。かような理由から、会費納入をお早い目に、宜しくお願い申し上げます。(文責 大石門三)



地域情報



*1,2行でも結構です
身近な記事を送ってください。



- ★ 1月30日ツグミの群れ(75羽)を見ました。1月号にあまりツグミ見ませんね、と書いたのですが・・・ <斑鳩> 勝田
- ★ 2月8日ハイタカを12月に見た同じ木にいました。しっかり白色の斑点も見ました。9日には三室山のサクラの木に白い腹を見せて止まっていました。横にカラス2羽、ハイタカが移動すると、それらも移動しました。ハイタカが飛び立ちました。その時2羽のカラスはハイタカを追いかけて行きました。 <斑鳩> 勝田
- ★ 2月10日可愛い鳥の声が聞こえます。回りを見回してもあの怖そうな顔のモズしかいませんでした。モズが可愛い声で他の鳥の鳴きまねをしていたのでした <斑鳩勝田>
- ★ 2月14日シロハラ初見。今年はもう来ないかと思っていましたが、去年より1ヶ月遅い到来です。 <斑鳩> 勝田

日本列島固有種の セグロセキレイ

小田久美子

全長約21cm、スズメをスマートにし尾羽を長くしたような体形の鳥です。歩く時に尾羽を上下によく振るのは他のセキレイ類（ギンズイ、死ハリ）等にも共通で、神話の中で伊弉諾・伊弉美の命に結婚のしきたりを教えた鳥とされています。冬はハセキレイと一緒にいることも多いですが、識別点は頭部の黒色模様と鳴き声です。セキレイ、ハセキレイは「チツ、チツ」「チュン、チュン」と澄んだ甲高い声で鳴きますが、セグロセキレイの声は「ジュー、ジュー」と濁って聞こえます。頭から胸と背中にかけてが黒く、白とのツートンカラーがお洒落な鳥で、海外からのウォッチャーが喜ぶ日本列島固有の鳥です。最近では南北からの他種に範囲を狭められつつある貴重な鳥なのです。早春まだ寒い頃から住宅地の民家の屋根などでもとても綺麗な声で囀っていますよ。留鳥であるセグロセキレイは年中見られますが、冬鳥のハセキレイも最近越冬するものが増え、ビル街などでのネグラが確認されています。ですからことはややこしくなります。グレーのセキレイを見かけたら、セグロセキレイの幼鳥かハセキレイかを確認して下さい、ちょっと面倒ですがセグロセキレイ（眉斑が白）ハセキレイ（過眼線が黒）の識別点を確認出来たらあなたはちょっとした鳥見フェチ。



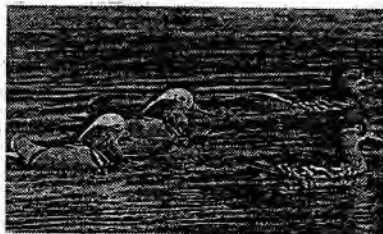
あご()コ～ナ～

ガンカモ科鳥類

—05年度県調査—
15種 1万9387羽

県は、05年度のガンカモ科鳥類の調査結果をまとめた。前年より約1000羽減ったがコガモ、マガモを中心に15種が確認され、総数は過去2番目に多い計1万9387羽だった。

森林保全課によると、確認羽数が多かったのは▽コガモ5729▽マガモ5649▽オシドリ2620▽カルガモ1812▽ヒドリガモ1442▽ハシビロガモ1293—など。ほかに、県内では珍しいツクシ



ガモも5羽確認された—写真は天理市の崇神天皇陵で観測されたオシドリ（県提供）。

観測地別の羽数は、大和川（王寺町）5種類1502▽二津野ダム（十津川村）2種類1474▽佐保川（大和郡山市）7種類838▽水上池（奈良市）7種類782▽上池（広陵町、河合町）7種類763羽。

1971年度以降、毎年1月中旬に調査している。県の委託で、日本野鳥の会奈良支部が県内118地点で調べ、うち100地点で生息を確認した。

* 毎日新聞（2006/2/18）から転載



【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場所〉 奈良忍辱山国有林（淀川、木津川、白砂川の源流域）
 （忍辱山円成寺駐車場）より徒歩10分 11月号地図参照
- 〈集合場所〉 国道369号線
 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）
- 〈日時〉 3月8日（水） 10時20分 第45回
 3月21日（祝） 9時20分 第46回
 〈終了予定〉 午後3時頃
- 【天候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- 〈交通〉 奈良交通バス 平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]
 土・日・祝 [柳生行き]

	JR奈良駅⑥番乗り場	近鉄奈良駅④番乗り場	忍辱山円成寺
日曜	8:26	8:29	9:02
平日	9:30	9:33	10:06

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

- 〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物
 ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
 《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》

- 〈連絡先〉 弓場厚次
 阿部和生
 寺田正博

【作業実施報告】

2月12（日） 雪

参加者 小森、樋口、明石、弓場、阿部、寺田（遅刻）。6名

現地集合するも降雪、積雪のため9時30分作業困難と判断し中止。

《円成寺概略》

真言宗御室派の寺。本尊は阿弥陀如来坐像（平安後期）。1062年（万寿3）に命禪が十一面観音を祀って創建。のち経源により浄土信仰の寺となり、また寛遍（1100-66）により真言密教化した。鎌倉時代には堂宇が整備されたが、1466に焼亡。しかしまもなく榮弘によって再建された。このとき榮弘が請来した高麗版大蔵経は後に徳川家康に献納され、増上寺に移されて今日にいたっている。境内には平安時代の浄土式と舟遊式を兼備した寝殿造系庭園があり、本堂の脇には現存最古の春日造社殿である春日堂と白山堂が立つ。本堂の柱には素晴らしい諸菩薩の極彩の来迎図が描かれている。もと多宝塔の本尊と伝えられる大日如来坐像は、現存する運慶の作品の中で最も早い時期のものとされている。

【国宝】 大日如来坐像（平安時代） 春日堂・白山堂（鎌倉時代）

【重要文化財】 楼門（室町時代） 本堂（室町時代） 阿弥陀如来坐像（平安時代）
 四天王（鎌倉時代） 宇賀神本殿（鎌倉時代）

【県指定文化財】 南無仏太子（鎌倉時代） 僧形文殊（鎌倉時代）

【名勝】 円成寺庭園

3月例会 《西吉野・津越の福寿草》ご案内

津越のフクジュソウは山深い所のため長く外部には知られることもなく保たれてきました。近年、口コミで少しずつ知られるようになりましたが、奈良県下ではフクジュソウの群落は珍しいです。山あいの早春の風景とちょっとした山歩きを楽しんで下さい。

【日 程】 3月9日(木)

【集合場所】 JR五条 10:20

【交 通】 ★ 近鉄西大寺 8:47 発(普) → 橿原神宮 9:22 着、9:31 発(急)
→ 吉野口 9:45 着、9:58 発(JR和歌山線乗り換え) →
五条 10:11 着

★ 近鉄阿部野橋 8:50 発(急) → (橿原神宮) → 吉野口 9:45 着
《西大寺組と合流》

【行 程】 JR五条駅(10:27発バス、約30分) ⇒ 城戸・・・津越

【準 備】 弁当、飲み物、雨具、観察用具

《担 当》 小田 久美子

第11回 近畿自然歩道・まほろばの路

水の神様が奉られる明神山を訪ねる路

明神山は金剛山脈の最北端にあり、亀の瀬と呼ばれる大和川の急流をはさんで信貴・生駒連山に対しています。ふもとは古からの水陸交通の要衝として歴史を重ねてきました。今回の行程は、JR王寺駅からバスで登山口近くまで行き、ここから山頂経由、王寺駅まで往復8キロの道です。山頂には水の神様「明神山水神社」が奉られ、その一帯は明神山自然の森として整備されています。ここから大阪平野から神戸・明石方面、生駒・信貴、葛城山、奈良盆地の展望が楽しめます。歴史と早春の自然を楽しんで歩いてみませんか。

[日 時] 3月23日(木) 10:00~16:00

[集 合] JR王寺駅改札口 10:00 集合

[交 通] 大和西大寺 9:03 発快速 → 生駒乗換 9:15 発 → 王寺 9:40 着
JR天王寺 9:30 発(関西線区間快速) → 王寺 9:48 着

[行 程] 王寺駅南口 10:10 発 バス → 10:40 明神4丁目 → 登山口 →
明神山山頂 12:00 → 出発 13:00 → 永福寺、白山姫神社、達磨寺経由、葛下川遊歩道 → JR王寺駅 15:45 着

[持ち物] 弁当、飲み物、雨具、観察用具

[担 当] 古川 祐司

<4月の予定>

4月例会 「幻の大仏鉄道を訪ねて」

「薨の波を 潜り抜け 真っ赤な蒸気機関車走り去り 実忠和尚さんも吃驚する 目指すは 二月堂 大仏さん・・・」桜の南山城路を訪れて見ませんか。オオタカに逢えるかも。会員外の方もお気軽にどうぞ。

日時 : 4月1日(土)

集合場所 : JR木津駅 9時50分

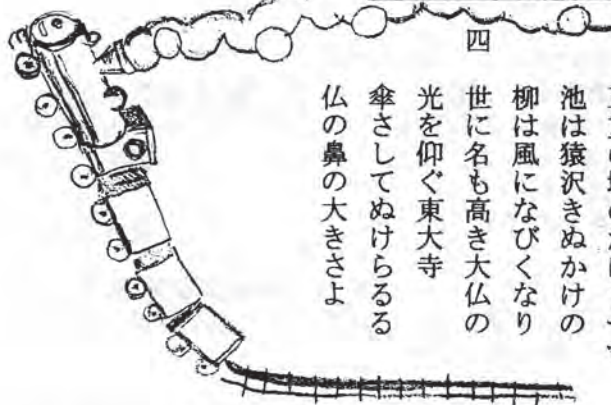
行程 : JR木津駅~鹿背山分校~鹿背山城址~西念寺(昼食トイレ)~大仏鉄道遺構めぐり~地藏院(桜トイレ)~JR加茂駅 約11km 約5時間

交通 : 大和路快速;大阪(8:43)~天王寺(8:57)~奈良(9:30)~木津(9:37)
学研都市線;京橋(8:54)~木津(9:44)(但し、いづれも2月時刻表から)
近鉄線 ;近鉄奈良駅からバスでJR奈良駅へ

用意 : 弁当、飲み物、雨具、写真好きの方はカメラを

担当 : 若き(?) スティームロコモジープアン川井

【鉄道唱歌・奈良版】を以下に記します。



「鉄道唱歌」

汽笛一斉 新橋を 速や我が汽車は
離れたり・・・

大仏鉄道乗り遊ぶ奈良を廻りて歌う唄

一 奈良は千年の其のむかし

七代さかえし帝都の地

七代伽藍の鐘の音に

残る響きぞ身にはしむ

二 東に見れば三笠山

いずる朝日の曇りなく

春日の森の木の間には

おきふす鹿も面白や

三 麓に立てる興福寺

五重の塔のかげうつす

池は猿沢きぬかけの

柳は風になびくなり

世に名も高き大仏の

光を仰ぐ東大寺

傘さしてぬけらるる

仏の鼻の大ききよ

四

五

六

七

八

西は法華寺西大寺

都の夢はやぶれたる

旅のまくらに秋篠の

里の砦もひびくなり

建築ふるき法隆寺

紅葉そめなす竜田山

散歩がてらに片道を

乗りたる汽車は半時間

北にめぐれば佐保山に

見ゆる御陵は聖武帝

おがむ袂の露きけは

草も昔やしのぶらん

なごり残して別れゆく

奈良のみやげは何々ぞ

奈良人形に春日塗

張子の鹿に奈良扇

第12回近畿自然歩道・まほろばの路

【コース名】 高安山・信貴山を巡る路

【日程】 4月15日(土)

【担当】 阿部 和生

*詳細は会報第51号<4月号>でお知らせします。

【3月の棚田作業】

- ・ジャガイモの植え付け準備（畝作りと植え付け） ・神田川の草取り ・枯れ草・竹の焼却
- ・竹林の整備 ・サクラロードの着手（ルート検討・間伐）
- ・ホームページを見てください。

- ◆ 3月活動日 第137回 3/5(日) 第138回 3/13(月) 第139回 3/19(日)
第140回 3/27(月)
- ◆ 4月活動日 第141回 4/2(日) 第142回 4/10(月) 第143回 4/16(日)
第144回 4/24(月) 第145回 4/30(日)

- ◆ 集合場所 近鉄生駒駅下車（鶴橋駅より快速15分）南口側 生駒ケーブル鳥居口駅 西隣りセブンイレブン前
- ◆ 集合時間 9時00分 現地まで車で移動（15分）
- ◆ 持ち物 弁当、飲み物、観察用品、軍手、長靴、
- ◆ お問い合わせ： 生駒駅からは車で移動します。（マイカーが足りない時は、タクシー利用をお願いします。）
- ◆ 事務局 大寺道代

2月度 定例幹事会議事録

日時： 平成18年2月3日（金） pm 5:30 ~ 8:30 奈良県女性センター
司会：弓場 書記：大寺

【報告事項】

- (1) 会員 動向： 101名 会計報告： 14,176円
- (2) 1月度例会： 1月21日（土）「新春講演会」 講師 竜谷大学 横田 岳人 先生
午前 奈良公園観察会及び講義 “シベリアタイガの現状” 参加者19名
午後 講演 “森林を維持するメカニズム” 参加者23名
- (3) 近畿自然歩道・まほろばの路： 1月16日（月） 晴
「二上山を越え、屯鶴峰を訪ねる路」 参加者20名
- (4) 奈良忍辱山森林整備作業：
1月11日（水） 晴 参加者 6名（奈良森林管理事務所 鶴内所長・倉石調整官来場。整備作業、作業の進捗とも良好との評価いただく。）
1月22日（日） 晴 参加者 7名
- (5) シニア自然大学進路説明会：
・ 1月15日（日） パネル展示及び活動報告書と新年号会報を配布する。
・ 入会希望者 9名 ・ 奈良県在住者約15名に会報2月号を郵送予定。
- (6) いこま棚田クラブ： 1月15日 西畑町主催の“大とんど”に参加協力する。
- (7) その他
 - ① 生協助成金使用報告 3月末までに提出。
 - ② 奈良県の2006年度より導入される森林環境税に関連し、助成金の申請・利用の方向を検討する。
 - ③ 森林保全活動に関し、管理者安全講習会の受講が必要とされる為 当会より阿部、明石の両氏が受講する。
 - ④ 2月19日（日）県環境パートナーシップ交流会に参加。

【討議事項】

- (1) 新年度 月次定例行事の確認
- (2) 2~4月度行事予定確認
 - ・ 例会 2月 4日（日） 「霧氷の三峰山」 (阿部)
 - 3月 9日（木） 「津越の福寿草」 (小田)
 - 4月 1日（土） 「大仏鉄道廃線跡」(加茂~奈良) (大石)
 - ・ まほろばの路 2月26日（日） 「平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむ路」 (三木)
 - 3月23日（木） 「水の神様が奉られる明神山を訪ねる路」 (古川)
 - 4月15日（土） 「信貴山を巡る路」 (阿部)
 - ・ 森林整備作業 2月12日（日）・21日（火）：3月8日（水）・21日（祝）：4月未定

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】